

がん化学療法レジメン

第1版

改訂日

登録日	H30.9.13	実施区分	<input type="checkbox"/> 入院のみ <input checked="" type="checkbox"/> 入院及び外来		初回入院	<input checked="" type="checkbox"/> 必要
レジメン番号	悪性リンパ種(ML)-043	診療科名	血液内科			
レジメン名	オビヌツズマブ療法					
レジメン補足						
がん腫	濾胞性リンパ腫					

＜1コース目＞

薬剤名	漏出	投与量	1 (週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
オビヌツズマブ (ガザイバ)		1000mg/body	●								●																			
			※1コース目のみ 1週間毎に3回投与																											

＜2～8コース目＞

薬剤名	漏出	投与量	1 (週)							2							3							4										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
オビヌツズマブ (ガザイバ)		1000mg/body	●																															
1コース期間	3～4週 (※)		目標コース数							■有 (8 コース)							□無 (PDまで)																	
点滴時間	初回：約4時間30分						2回目以降：約3時間30分																											
注意事項など							<p>インラインフィルター付き輸液セットを用いること</p> <p>infusion reaction予防のため、本剤投与30分前までに解熱鎮痛剤（アセトアミノフェン・ロキソプロフェン）と抗ヒスタミン剤（クロルフェニラミン（ネオマレルミンTR錠6mg））の前投与を行うこと、特に初回投与時は副腎皮質ホルモン剤（プレドニゾン・デキサメタゾン・メチルプレドニゾン）の前投与も考慮すること</p> <p>(※) CHOP療法 (ML-001)、THP-COP療法 (ML-002) と併用する場合は3週間毎に投与 ベンダムスチン療法【90mg/m²】 (ML-025) と併用する場合は4週間毎に投与</p> <p>★注入開始速度は患者の状態やinfusion reactionの有無に応じ適宜減速すること★ 注入速度に関連して、血圧降下・気管支痙攣・血管浮腫などの症状が出現するので、本剤の注入速度を守り、注入速度を上げる際は特に注意すること（流速up後は必ずバイタルチェックを行うこと）</p>																											

Day 1

《メイン》 PVCフリー(フィルター付)の輸液セット

投与順序	投与薬剤名	投与量 単位	投与方法 点滴時間
①	生食	50mL	ルートキープ
②	生食	210mL	右図 (※)
	オビヌツズマブ	1000mg	
③	①の残りの生食でフラッシュ		

※投与速度※

〔初回投与時〕

最初の30分は12mL/hrで開始する。
患者の状態を十分観察しながら、30分ごとに12mL/hrずつ上げることができる。
(最大速度：96mL/hr)

〔2回目以降〕

前回投与時のinfusion reactionがGrade2以下の場合25mL/hrで開始し、30分ごとに25mL/hrずつ上げることができる。
(最大速度：100mL/hr)

Grade3以下のinfusion reactionが発現した場合、投与中断前の半分の速度で投与再開する。
以降infusion reactionが認められなければ、30分ごとに15mL/hrずつ上げることができる。
(最大速度：100mL/hr)